

# 地域振興県土警察常任委員会資料

(平成 29 年 8 月 21 日)

- 1 山陰デスティネーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議の開催について  
【観光戦略課】 . . . . . 1 ページ
- 2 「蟹取県ウェルカニキャンペーン」の開始について  
【観光戦略課】 . . . . . 2 ページ
- 3 台湾遠東航空による鳥取砂丘コナン空港へのプログラムチャーター便の  
運航について  
【観光戦略課】 . . . . . 別 冊
- 4 鳥取県・モンゴル中央県友好交流20周年記念事業の実施結果について  
【交流推進課】 . . . . . 3 ページ
- 5 「源泉回帰・関金温泉開湯1300年祭」の開催について  
【中部総合事務所地域振興局】 . . . . . 5 ページ
- 6 伯耆国「大山開山1300年祭」プレ・イヤーイベント等について  
【西部総合事務所地域振興局】 . . . . . 6 ページ
- 7 特定非営利活動法人大山中海観光推進機構の検査結果について  
【西部総合事務所地域振興局】 . . . . . 8 ページ

## 観光交流局



# 山陰デスティネーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議の開催について

平成29年8月21日  
観光戦略課

鳥取県、島根県とJRグループが共同実施する「山陰デスティネーションキャンペーン」(平成30年7月～9月)に向けて全国の旅行会社やマスコミにPRする「全国宣伝販売促進会議」が以下のとおり開催されます。

## 1 目的

平成30年7月1日から9月30日で実施される、山陰(鳥取県、島根県)を舞台とした観光誘客キャンペーンである「山陰デスティネーションキャンペーン」の1年前からのPRとして、「プレキャンペーン」(平成29年7月～9月)を開始しています。

この一環として、全国の旅行会社やマスコミ関係者を招待し、両県の観光素材を情報発信することにより、来年度の旅行商品造成につなげていくことを目的として「全国宣伝販売促進会議」を開催します。

※今回のキャンペーンには、大山エリアの観光圏域に含まれる岡山県真庭市も初めて参加しています。

## 2 主催

山陰デスティネーションキャンペーン協議会 会長：平井知事(両県知事が隔年交代)  
(構成：鳥取県・島根県、両県市町村・民間団体等、西日本旅客鉄道株式会社)

## 3 日程

平成29年8月23日(水)～25日(金)

・8月23日(水) [全体会議・歓迎レセプション]

全体会議 14:00～15:40 / 歓迎レセプション 17:25～18:50

・8月24日(木)～25日(金) [エクスカーショント(視察旅行)]

## 4 会場

全体会議、歓迎レセプション：米子コンベンションセンター(多目的ホール)

エクスカーショント(視察旅行)：鳥取県、島根県内のキャンペーン限定観光メニューをめぐる9コースを設定

## 5 招待者

全国の旅行会社・マスコミ・JRグループ各社など約700名

## 6 内容

### (1) 全体会議

・両県及びJRによる観光プレゼンテーションの実施(約90分間)

(プレゼンターは温泉旅館の若女将、地元観光関係者を予定)

・JR西日本、各市町村、鳥取県観光連盟、大山開山1300年祭実行委員会等による観光PRブースの設置

### (2) 歓迎レセプション

・郷土芸能の披露(しゃんしゃん傘踊り、関金田植え歌、がいな万灯他)

・地元グルメの提供(大山ハム、大山地ビール、白イカ天ぷら、牛骨ラーメン、大江の郷スイーツなど)

・その他、地元産食材を使った料理の提供

### (3) エクスカーショント

・両県の観光地を視察していただくため、9コースを設定

(鳥取県3コース、島根県は隠岐を加えて4コース、両県にまたがる日帰りコース2)

・鳥取県内の訪問先としては、大山寺、植田正治写真美術館、青山剛昌ふるさと館、かろいち、渡辺美術館、レストランアルマーレ、若桜鉄道、三朝温泉、砂の美術館などを設定

## 7 その他(デスティネーションキャンペーンについて)

「デスティネーションキャンペーン」は、JRグループ(北海道、東日本、東海、西日本、四国、九州)が地元観光関係者や地方自治体等と連携して実施している広域的な観光誘客キャンペーンであり、昭和53年に和歌山県で第1回目を開催して以降、毎年四半期ごとに実施しています。山陰両県では、昭和61年、平成9年、平成15年、平成18年、平成24年に続いて6回目の開催となります。

今回の山陰デスティネーションキャンペーンは「Nostalgic San' in わすれがたき山陰」と題し、鳥取県においては、「大山開山1300年祭」「水木しげるロード」「倉吉白壁土蔵群」「鳥取砂丘砂の美術館」「山陰海岸世界ジオパーク」を中心にPRしていくこととしています。

## 「蟹取県ウエルカニキャンペーン」の開始について

平成 29 年 8 月 21 日  
観 光 戦 略 課

鳥取県が「カニの水揚げ日本一」であることを切り口に、「松葉がに」や「ベニズワイガニ」など「鳥取のカニ」の認知度向上と宿泊を伴う誘客対策を兼ねた「蟹取県ウエルカニキャンペーン（平成 29 年 9 月 1 日（金）～平成 30 年 2 月 28 日（水））」を実施します。

キャンペーンでは、県内宿泊者を対象とした「鳥取のカニ」プレゼント企画に加え、日帰りの方々も楽しめるよう県内を周遊するスタンプラリーとフォトコンテストを行います。また、今年度は県内のカニ料理のお店などの口コミ情報をホームページ上に投稿できるようにし、来県者へ食事場所の情報提供を行います。

さらに、ポスター、パンフレット等を娯楽調のインパクトあるビジュアルイメージで統一することで、見た人にWEB・SNSなどへの投稿を促し、情報の拡散を図ります。

### 1 キャンペーンの概要（期間はいずれも平成 29 年 9 月 1 日（金）～平成 30 年 2 月 28 日（水））

#### (1) 宿泊者を対象とした「鳥取のカニ」プレゼント

期間中、県内指定宿泊施設（127 施設）宿泊者を対象に、応募者の中から抽選で毎月 100 名様（総勢 600 名）に「鳥取のカニ」をプレゼント

#### (2) カニ&ピースフォトコンテスト

蟹取県特設WEBサイトで、カニキャップを被った写真やカニポーズ（ピースサイン）の写真などカニに関する写真を募集。応募いただいた写真はホームページで紹介しグランプリを決定。受賞者には、鳥取県の特産品をプレゼント。

#### (3) 蟹取県に潜む食の怪人スタンプラリー

県産食材が扮する怪人イラストのスタンプを県内各地に設置。このスタンプを集めることで、県内周遊を促す。特典として、全てのスタンプを集めた方に蟹取県特製スマートフォンクッションをプレゼント。また、全てを集めなくてもスタンプの数に応じて抽選で蟹取県特製USBメモリーや特製カニフォークなどをプレゼント

#### (4) カニが食べられるお店などの口コミ情報の掲載

今年度の新たな取組として、県内のカニ料理のお店などの口コミ情報をホームページ上に投稿できるようにし、来県者へ食事場所の情報提供を行う。

### 2 都内におけるウエルカニキャンペーン記者発表会の開催

(1) 開催日：平成 29 年 8 月 29 日（火）（予定）

(2) 場 所：東京都内

(3) 開催内容（予定）：知事挨拶（キャンペーン概要等の説明）、蟹取県宣言等

#### 【参考】昨年度の概要と実績

##### ●宿泊者への「鳥取のカニ」プレゼント

・対 象 期 間：平成 28 年 9 月 1 日から平成 29 年 2 月 28 日  
（毎月 100 名（11 月と 12 月は各月 200 名）、総勢 800 名様に「鳥取のカニ」をプレゼント）

・指定宿泊施設：県内 124 施設

・応 募 総 数：21,307 通（男性 10,750 人、女性 10,540 人、不明 17 人）

<年代別>

20 代以下：11.0%、30 代：12.8%、40 代：18.5%、50 代：21.8%、60 代：23.3%、70 代以上：12.1%、不明：0.5%

<エリア、都道府県別>

北海道・東北：267 人（1.2%）、関東：2,910 人（13.7%）、東海・北陸：1,347 人（6.3%）、関西：8,129 人（38.1%）、中国・四国：8,068 人（37.9%）、九州・沖縄：565 人（2.7%）、その他：21 人（0.1%）

上位 5 県：①大阪（3,418）、②兵庫（2,451）、③広島（2,262）、④岡山（2,078）、⑤鳥取（1,319）

##### ●フォトコンテスト

・実 施 期 間：平成 28 年 10 月 1 日から平成 29 年 2 月 28 日

・応募総数：637 件

##### ●スタンプラリー

・実 施 期 間：平成 28 年 9 月 1 日から平成 29 年 2 月 28 日

・応募総数：322 件

# 鳥取県・モンゴル中央県友好交流20周年記念事業の実施結果について

平成29年8月21日  
交 流 推 進 課

本県とモンゴル中央県が、1997（平成9）年に友好交流の覚書に調印してから20周年を迎えたことから、野川副知事をはじめとする訪問団が訪蒙し、モンゴル中央県で開催された記念事業に参加しました。

## 1 訪問団

- ・副知事団 野川聡鳥取県副知事ほか
- ・青少年交流団 鳥取商業高校生徒、鳥取敬愛高校生徒ほか

## 2 記念事業

### (1) 友好交流20周年記念式典

(日 時) 7月28日(金) 10時10分～12時

(場 所) 中央県庁大会議室(モンゴル中央県)

(出席者)

鳥取県 野川副知事、小林農業大学校長ほか

中央県 バトジャルガル知事、ムンフバータル副知事、鳥取県での研修修了者ほか

(概 要)

- ・友好交流締結から20年目の節目を迎え、交流を新たな時代に進めていき、今後、農業や医療分野、青少年交流、スポーツ交流などをますます発展させていくことをお互いに確認した。
- ・中央県バトジャルガル知事から、鳥取県野川副知事に対して、これまでの交流の功績を讃え、名誉勲章が授与された。
- ・中央県の農業分野、医療分野における鳥取県での研修修了者から、研修成果を活かした現在の取組状況の報告があったほか、モンゴルの伝統芸能や日本語を学習している児童による踊りの披露があった。
- ・友好交流20周年を記念し、中央県バトジャルガル知事と鳥取県野川副知事が、中央県庁前広場に松を記念植樹した。



友好交流20周年記念式典



記念植樹

### (2) その他実施事業

#### ア 中央県中央病院視察

(日 時) 7月28日(金) 午後2時30分～3時

(場 所) 中央県中央病院

(概 要)

- ・本県で医療分野の研修を行った院長の案内で、中央県中央病院を視察し、本県での研修が中央県の医療事情の改善に貢献していることを確認した。

イ 中央県農業局及び元研修生の農場視察

(日 時) 7月28日(金) 午後3時30分~4時

(場 所) 中央県農業局

(内 容)

- ・ 農業局長から、中央県の農業事情について説明を受けるとともに、本県で農業分野の研修を行った農家が経営する農場を視察し、本県での研修が中央県の農業生産の改善に貢献していることを確認した。

ウ 青少年交流事業

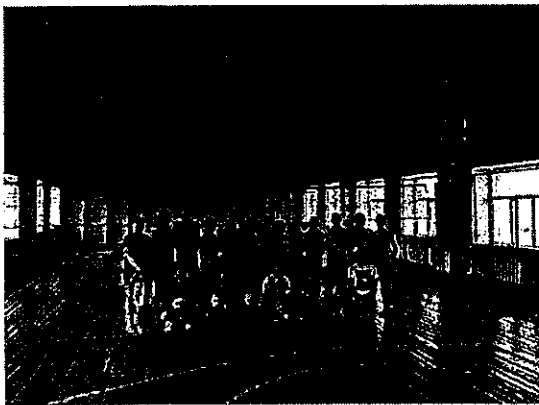
(日 時) 7月28日(金) 午後~7月29日(土)

(場 所) 中央県フムーン総合学校ほか

(参加者) 青少年交流団、フムーン総合学校生徒ほか

(概 要)

- ・ 青少年交流団が、日本語学習を行っているフムーン総合学校を訪問し、両県の紹介プレゼンテーション、料理教室、グループワークを行ったほか、同校生徒の家庭等にホームステイを行い、モンゴル中央県の文化、習慣等について学ぶなど、相互理解を深めた。



バレーボール大会

エ 鳥取県モンゴル中央県親善協会と連携した交流事業

(日 時) 7月29日(土) 午後2時~5時

(場 所) 中央県エルデネ町

(内 容)

- ・ 鳥取県モンゴル中央県親善協会(河本義永会長)が主催した「モンゴル友好交流の翼」事業に参加された26名と一緒に、中央県が開催したミニナーダムに参加し、乗馬、モンゴル相撲、弓などモンゴルの伝統文化に触れるとともに、中央県民との交流を行った。



ミニナーダムでモンゴル相撲優勝者表彰

# 「源泉回帰・関金温泉開湯1300年祭」の開催について

平成29年8月21日  
中部総合事務所地域振興局

倉吉市の関金温泉では、2017年に開湯1300年を迎え、4月に開催された「せきがねつつじ温泉まつり」を皮切りとして秋季を中心に、温泉だけでなく、歴史的伝統文化、豊かな自然など、脈々と受け継がれてきた地域の宝にさらに磨きをかけた「関金温泉開湯1300年祭」が開催されます。

鳥取県中部の秘めた観光資源として、倉吉市と共に首都圏で情報発信し、鳥取県中部地震からの復興と来年の大山開山1300年祭をアピールしながら、観光客誘客に繋げるため、東京アンテナショップ（とっとり・おかやま新橋館）でのPRイベントを実施しました。

## 1 関金温泉開湯1300年祭の概要

- ミニたたらワークショップ（7月下旬～11月中旬・全4回）  
参加者自らが砂鉄を集め、それを使って刀を作る鍛冶体験を行うワークショップを開催。
- 倉吉せきがね里見まつり（9月3日）  
「南総里見八犬伝」のモデルと言われている里見忠義公と八賢士を偲び、開催されるおまつり。手づくり甲冑を身にまとった武者行列や子供歌舞伎等が楽しめる。今年、外国人をターゲットとした甲冑体験や撮影会を実施。
- 関金御幸行列（9月18日）  
倉吉市の無形民俗文化財に指定されている神輿（みこし）渡御（とぎよ）の行列で、大名行列のごとく温泉街を練り歩く。
- 健康と温泉フォーラム（10月19、20日）  
温泉の健康利用促進や温泉資源の活用、温泉地のネットワーク化を図るための全国フォーラムを開催。温泉を使った健康維持の取組みの紹介や地域づくりをテーマとしたパネルディスカッションが行われる。
- 東大山古道トレッキング（10月21、22日）  
関金温泉、山守、東大山エリアを東大山古道を介してトレッキングを実施。1泊2日コースでは大山の川床から白壁土蔵群までの自然・文化を満喫できるコース、日帰りコースとしては倉吉線廃線跡を巡るコースと一向平から大山滝を巡るコースを準備。

## 2 PRイベント概要

倉吉・関金が終焉の地となり「南総里見八犬伝」のモデルと言われる里見忠義公にまつわる歴史講談と関金で暮らされている方の想いを記録した動画上映を柱として、開湯1300年祭及び倉吉・関金の観光PRを行いました。

歴史講談の後に展示をメモしながらご覧になる歴史好きの方々や、大人から子どもまで幅広く楽しまれた甲冑の試着体験が好評でした。

- (1) 日時 8月8日（火）16:00～19:30  
9日（水）10:00～15:00
- (2) 場所 東京アンテナショップ（とっとり・おかやま新橋館）
- (3) 主催 源泉回帰「関金温泉開湯1300年祭」実行委員会  
※実行委員会の一員として、中部総合事務所地域振興局と倉吉市が協力。

### (4) 概要

- プロモーションゾーン（1階）[来場者数 約200名]
  - ・関金牛の試食
  - ・倉吉市観光のPR
- 催事スペース（2階）[来場者数 約110名]
  - ・倉吉の歴史講談「たまゆらの人生、里見安房忠義」  
講釈師：脇坂 幸司 氏（倉吉・豊田家住宅）
  - ・関金PR動画上映会及びトークセッション  
「ぼくのなつやすみ」（倉吉市出身の映像会社（株）LENZ 制作）  
「記憶の記録」（倉吉市出身の映像作家 波田野州平氏の作品）
  - ・関金温泉開湯1300年祭・倉吉市観光のPR
  - ・甲冑武者とのフォトセッション、甲冑の試着体験、ワンワン甲冑
  - ・特産品の販売



【歴史講談】



【観光PR】



【甲冑試着体験】

伯耆国「大山開山 1300 年祭」プレ・イヤーイベント等について

平成 29 年 8 月 21 日  
西部総合事務所地域振興局

伯耆国「大山開山 1300 年祭」プレ・イヤーイベント、同祭の成功に向けた民間企業の応援企画等について報告します。

1 伯耆国「大山開山 1300 年祭」プレ・イヤーイベント ※近日開催予定のもの

(1) 「星取県」大山フェスティバル (主催：1300 年祭実行委員会)

本県が誇る美しい星空を県内外の方に PR し、大山の魅力、満天の星空を堪能いただく。

会場	江府町	大山町
日時	8 月 27 日 (日)	9 月 17 日 (日)
場所	休暇村奥大山	大山総合体育館周辺
内容	天然のブナ林と天然水が湧き出る奥大山の大自然の中で、思わず手を伸ばせば届くような満天の星空を堪能。 ・星空観測会	空気が澄んだ静寂の大山で神秘的な星空を堪能。 ・移動式プラネタリウム (7 回上映) ・星取県スター大使篠原ともえさんのトークショー ・星空観測会

(2) 「大山の魅力」特別展示－鳥取県ゆかりの刀剣 (主催：1300 年祭実行委員会、米子市ほか)

米子市美術館所蔵作品の中から大山をモチーフにした洋画・日本画・版画・写真と「太刀 銘 安綱」、「太刀 銘 信濃大掾 藤原忠国」などの刀剣を展示。

※かつて、大山の恵みを受けた「たたら製鉄」が栄え、大山のふもとで刀工「伯耆安綱」が名刀を作出したといわれており、平成 30 年は伯耆国「大山開山 1300 年祭」特別企画展を開催予定。

- ア 日 時 9 月 3 日 (日)～24 日 (日) 午前 10 時～午後 6 時  
イ 会 場 米子市美術館第 2 展示室  
ウ 関連事業 刀剣講座 (9/10 (日)、米子市美術館第 5 展示室)

(3) スターダスト☆レビュー in とっとり花回廊 (特別協力：1300 年祭実行委員会、南部町ほか)

コンサート開演前にステージ上で 1300 年祭を PR。PR ブースも設置。

- ア 日時 9 月 3 日 (日) 14:00～17:00  
イ 会場 とっとり花回廊・芝生広場

2 伯耆国「大山開山 1300 年祭」応援企画・唐揚げ供給量ギネス世界記録®に挑戦

1300 年祭の成功を祈願して、ギネス世界記録に挑戦し、1300kg の唐揚げを揚げるもの。

※(株)大山どりが 1300 年祭の応援のため独自に企画。NPO 法人鳥取県障害者就労事業振興センターの協力を得ながら、(株)大山どり、県内の就労継続支援事業所スタッフ及び障がい者の方々が挑戦。

⇒ギネス世界記録挑戦の話題性を活かして、1300 年祭の PR 及び「鳥取県の大山どり」のイメージ定着を図る。

- (1) 日 時 8 月 27 日 (日) 12:00～12:30 頃  
(2) 場 所 (株)大山どり びっくり市会場 (米子市淀江町中間 16-2)  
(3) 挑戦内容 ギネス世界記録「最大の唐揚げ供給量 (Largest serving of fried chicken)」  
(4) 現在の記録 1,076kg (平成 29 年 8 月 7 日現在)



### 3 その他伯耆国「大山開山 1300 年祭」関連の動き

#### (1) “#星すげえ”鳥取県大山物産&観光PRの実施結果

東京都内で1300年祭を中心とした大山の観光PR及び物販を実施。

⇒1300年祭への興味を示されるお客様が多く、また、「鳥取県のイメージアップに繋がる」などCMを好意的に受け止めている方も多かった。

- ア 日時 7月31日(月)～8月6日(日)
- イ 場所 とっとり・おかやま新橋館
- ウ 内容 1300年祭、大山圏域の物産のPR  
※サントリー天然水のCMを放映  
※1300円以上購入された方(各日先着30名)にはサントリー天然水「奥大山の水」をプレゼント

#### 〔参考1〕お客様の声

- ・何を食べても鳥取県の食材はおいしい。1300年祭には興味があり、今後も情報を教えてほしい(60代・夫婦・東京在住)
- ・子供の頃から大山に行っている。イベントの日程が帰省と重なれば大山まで足を伸ばして観光に行ってみたい。(50代：女性・岡山県倉敷市出身)
- ・大山が有名になればうれしい。学校の給食で大山の牛乳を飲んで育った。こっちは牛乳はあまりおいしくない。県外に出て、地元の食べ物のおいしさが分かった。帰省したときに1300年祭のイベントがあれば是非行ってみたい。(20代：女性・米子市旗ヶ崎出身)

#### 〔参考2〕今後の県外広報の予定

- ・平成29年度秋季観光情報説明会(9/6中京、9/7関西、9/14広島)
- ・ツーリズムEXPOジャパン2017(9/22～9/24東京ビッグサイト)

#### (2) 謎解き宝探し in 大山〔主催：伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会〕

○宝探しゲームの開催により、夏休み期間中の大山圏域への誘客、周遊を促進中。

○8/14現在で609人がゲームクリア(平均40人程度/日、最高で118人(8/13))。

#### 〔イベント概要〕

- ア 期間 7月29日(土)～9月3日(日)
- イ 場所 大山寺参道周辺
- ウ 内容 宝の地図を解読し、隠された宝箱を探す体験型ゲーム。クリアした方には抽選で豪華賞品をプレゼント。

## 特定非営利活動法人大山中海観光推進機構の検査結果について

平成 29 年 8 月 21 日  
西部総合事務所地域振興局

大山町と特定非営利活動法人大山中海観光推進機構(以下、「法人」という。)との委託業務の不適切事務に関する経緯及び特定非営利活動促進法(NPO法)に基づく検査結果等について報告します。

### 1 事案の経過

- H28. 11. 1 法人への委託偽装の疑いを指摘する新聞記事が掲載  
11. 4 大山町において事務執行監査請求  
12. 22 大山町監査委員からの監査結果の公表  
12. 27 大山町長が法人への委託業務に「不適切事務」があったと発表
- H29. 1. 13 西部総合事務所による NPO 法に基づく法人運営の検査を実施(第1回目の検査)  
1. 17 検査結果の通知及び改善方針の報告指示(1/31 期限)

#### (検査結果)

- ・大山町の監査で指摘された大山町委託分を除くと、会計処理は税理士により適正に行われ証憑書類も適正だった。
- ・NPO法により公開義務のある平成25～27年分の事業報告には、大山町からの受託分が含まれていないことが判明した。
- ・法人定款と実際の運営において、総会等の開催通知方法や議事録作成等に一部不整合があり、定款と一致させるよう指導した。  
なお、大山町委託分は、税務署の調査終了後に改めて検査をすることとした。

#### (検査後の対応)

- ・平成29年1月17日付けで次の(1)～(5)について改善をNPOに通知し、改善方針の報告を求めた。
  - (1) 大山町からの委託事業が法人の決算書類及び財産目録に計上されておらず、当該分を除く決算になっている。決算書類には正しい内容を明瞭に表示すること
  - (2) 会費が徴収されていないので、定款どおり徴収または定款を改めること
  - (3) 総会及び理事会開催時の招集通知を定款に基づき書面により行うまたは電子的方法によるよう定款を改めること
  - (4) 総会及び理事会の議事録を作成すること
  - (5) 平成27年度事業報告書の数値記載誤りの修正をすること

### 1.31 NPO 法人から改善方針の報告提出

#### (報告内容)

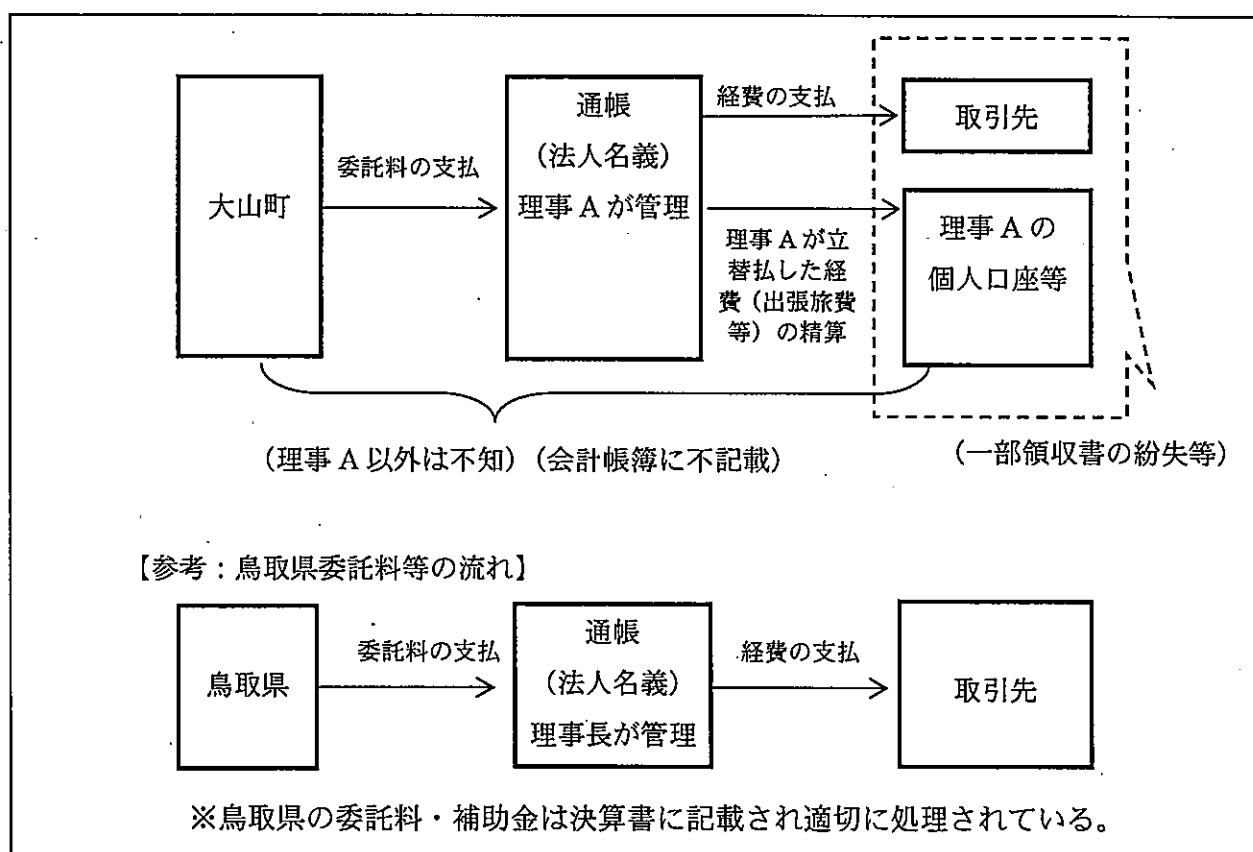
- ・大山町の委託事業分は、米子税務署の調査終了後、修正申告し、速やかに決算書類の修正を行う。
- ・法及び定款に沿った会議通知、議事録作成、会費徴収等を行う。
- ・上記以外の記載誤りについては修正分を提出する。(HPアクセス件数等) ⇒同日提出済。  
なお、7月10日に法人定款に則り適切に実施されていることを確認した。

3. 16 大山町とNPO法人との委託契約に関する調査特別委員会報告(大山町)  
4. 20 大山町住民監査請求監査結果の公表  
7. 7 法人から西部総合事務所に米子税務署の調査が終了した旨の報告  
7. 10 西部総合事務所による法人に対する大山町委託事業分について追加の確認検査を実施

## 2 検査結果（7月10日実施分）

- ・元大山町職員のA理事が会計帳簿に記載せずに管理していた収入及び支出額について確認した。
- ・支出を裏付ける領収書等が紛失等により提出できないものがあるが、この用途は受託事業の経費として全額支出したものであることを理事長及びA理事に聞き取った。
- ・委託料の不適正利用の事実は確認できなかった。  
 ※大山町の事務執行監査でも元大山町職員のA理事は私的流用を否定する答述をしているが信憑性の判断は困難とされている。
- ・税務調査に基づく修正申告および納税については適切かつ速やかに行われていた。
- ・H29.1.31付の同法人からの改善方針に基づく改善事項（会費徴収、会議招集方法、議事録作成）は法人定款に則り適切に実施されていることを確認した。

### ＜大山町と(特非)大山中海観光推進機構との委託業務の不適切事務に関する資金の流れ＞



## 3 検査後の対応（7月10日実施分）

法人定款に抵触することから次の事項について改善するよう指導し、平成29年7月19日付けで法人へ通知した。

- (1) 法人の事業計画及びこれに伴う収支予算については理事長が作成し、総会の決議を要すること。
- (2) NPO法人の計算書類及び財産目録は、活動にかかる事業の実績及び財政状態に関する真実な内容を明瞭に表示したものとすること。

※法人は平成29年7月31日で解散し、現在は清算の手続き中。

